

授業科目名	在宅看護学援助論 (2300232)		
時間割名	在宅看護学援助論 (24206)		
時間割担当	安藤 昌恵		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・4		

授業の目標・概要

在宅療養者とその家族への理解を深めるとともに看護のアウトカムとしての対象者のクオリティ・オブ・ライフを追求するために、全人的な視点から得た客観的情報の分析から対象者の健康問題や生活課題に関する諸問題を明確にし、在宅看護過程の展開ができるようになる。また在宅看護で必要度の高い技術・ケア（日常生活援助、医療行為、医療的ケア）の原理原則と個別性への応用を学び、効果的で個人にあった看護を展開するための実践力を主体的に習得できるような態度を育む。演習については助教も担当する。

学習の到達目標

在宅看護の特性をふまえて、療養者と家族のQOLをめざした援助方法がわかる。
療養者に必要な技術とケアの実際がわかる。
療養者の全体像を理解し、看護過程の展開につなげることができる。

授業方法・形式

講義（一部演習）

授業計画

- 第1回 シラバス説明
在宅における基本的な面接技術
- 第2回 長期臥床状態にある療養者の在宅看護
- 第3回 認知症療養者に対する在宅看護
- 第4回 子どもの療養者の在宅看護
- 第5回 精神障害者に対する在宅看護
- 第6回 難病療養者の在宅看護
- 第7回 ターミナル期の療養者の在宅看護
- 第8回 在宅における日常生活援助技術
（食、排泄、清潔、移動）
- 第9回 食生活・嚥下に関する医療処置
（経管栄養法、中心静脈栄養法）
- 第10回 食生活・嚥下に関する医療処置
（経管栄養法、中心静脈栄養法）
- 第11回 排泄に関する医療処置
（尿道留置カテーテル、人工肛門）
- 第12回 呼吸機能に関する医療処置
（在宅酸素療法（HOT）、人工呼吸器療法）
- 第13回 呼吸機能に関する医療処置
（在宅酸素療法（HOT）、人工呼吸器療法）
- 第14回 在宅看護過程
（在宅看護過程の特徴を学び、一連の過程を理解する）
- 第15回 在宅看護過程
（事例をとおして在宅看護過程を展開する）

成績評価の基準

定期試験60%、課題・小レポート30%、質疑応答10%

授業時間外の課題

予習・復習は必ず行ってください。
特に復習をしっかりと行って、次の授業に臨んでください。

メッセージ

講義内でお伝えします。

教材・教科書

特定のテキストは用いず、適宜、資料を配布する。

参考書

参考書等は、適宜、提示する。